

「神戸2025ビジョン（素案）」市民意見に対する本市の考え方

○ 募集期間：令和2年12月11日（金）～令和3年1月18日（月）

○ ご意見数：91件（32通）

※ ご意見は、同様の趣旨のものをまとめて掲載しています。また、趣旨を損なわない程度に要約していますので、ご了承ください。

1. 「神戸2025ビジョン」全体についてのご意見（27件）

NO	意見の概要	意見に対する本市の考え方
1	<p>沢山の事業が盛り込まれているが、一番大切なのは、計画の顔にもなる「テーマ」である。説明を読むと、「海と山」の部分はコロナ禍で、自然環境や適度な疎への関心が高まる中、神戸のまちの強みをうまく取り込んでいる。また、「グローバル」の部分は、コロナの中で切り込んだ印象を受けるが、5年間の計画であることや神戸の街の印象を踏まえると、良いと思う。</p> <p>「貢献」の部分に関しては、市外への貢献についての記載しかないが、もっと近くの「人の役に立つ」、「助け合う」といった観点もあるのではないか。昨春の医療従事者を応援する基金には多くの寄付が集まったと聞いた。また、大学生が地域貢献するような取り組みもある。こういった要素も盛り込んではいかがか。</p>	<p>本ビジョンのテーマ「海と山が育むグローバル貢献都市」には、神戸の強みを磨き、活かしながら、世界に貢献するとともに、ご指摘の通り、コロナ禍において、市民や神戸を応援してくれる方々の他者のために貢献する利他の思いを大切にし、さらに醸成し、広げていくことで、市民が心豊かに幸せを実感できるまちを目指していきたい、という思いを込めております。</p> <p>ご意見を踏まえ、テーマの説明をより明確にいたします。</p>
2	<p>ビジョンのテーマ「海と山が育むグローバル貢献都市」に非常に共感致します。</p>	<p>本ビジョンのテーマ「海と山が育むグローバル貢献都市」に共感をいただきありがとうございます。</p> <p>海や山、国際性といった神戸の強みを磨き、活かしながら、世界に貢献するとともに、コロナ禍において、市民や神戸を応援してくれる方々の他者のために貢献する利他の思いを大切にし、さらに醸成し、広げていくことで、市民が心豊かに幸せを実感できるまちを目指します。</p> <p>ビジョンのテーマに掲げたまちの姿の実現に向け、着実に取り組んでまいります。</p>
3	<p>テーマ名称「海と山が育むグローバル貢献都市」は、残念ながら非常に平凡な表現で、個人的には神戸2020ビジョンのテーマ名称の方が、心に突き刺さり、ワクワクさせる表現だった。</p>	<p>本ビジョンのテーマを考えるにあたり、有識者検討会議をはじめ、市民へのアンケート調査、グループインタビューなどを通して広くご意見をいただきながら、改めて神戸の強みとは何かを考えてまいりました。神戸は、都心に近接した海や山、国際性や多様性などをあわせ持ち、国内にこのような素晴らしいまちは無ということと、利他の心を大切にするとともに世界に広く貢献していきたいという思いをメッセージとしてテーマに込めました。</p>
4	<p>メッセージ性が感じられない。</p> <p>神戸2020ビジョンにはメッセージがあり、ビジョンの骨子をわかり易く表したコピーがあったが今回は見当たらない。そもそもビジョンとは、そのグループの理念、ミッションを達成した際の映像表現であり、理念達成に向け、全参加者の意識を合わせていくためのツールである。広く突き刺さるメッセージは大切。</p>	<p>ご指摘の通り、2020ビジョンのテーマである「若者に選ばれるまち」「誰もが活躍するまち」の理念を継承発展させ、若者、そして誰もがチャレンジできるクリエイティブなまちを目指していきます。</p>

5	<p>冒頭で“神戸 2020ビジョンのテーマ「若者に選ばれるまち」、「誰もが活躍するまち」の考え方を継承”とあるが、全体通してそれが感じられない。</p>	<p>本ビジョンの策定は、「神戸2020ビジョン」の総括検証を実施し、これまで取り組んできた事業の課題や、今後も推進していくべき事業などについて分析を行いながら進めてきました。これらを踏まえ、本ビジョンでは、神戸2020ビジョンで掲げたテーマの考え方も継承しつつ、「若者に魅力的な仕事づくり」や「安心なくらしづくり」に資する施策を盛り込んでいます。本ビジョンに基づき、今後も着実に推進してまいります。</p>
6	<p>前回ビジョンの棚卸しがなされていない 項目毎の細かな数値目標管理ではなく、大切なのは、その骨子を関係者が自分事として動けたか否か、そこから生まれた成果を皆で実感できたかどうかである。前ビジョンは市役所全部署を串刺しにし、市民とも共に握り合うべき「五つの視点」あった。これを継承するのか、次段に上がるのか、捨てるかの判断は必要。この5年間、市行政の牽引者が、掲げたビジョンを推進したのか。残念ながらそうは映らなかった。</p>	<p>本ビジョンの策定にあたっては、「神戸2020ビジョン」の総括検証評価を実施し、その報告書を有識者検討会議や市会に報告、公開し、議論を重ねてまいりました。 なお、神戸市ホームページにおいて、「神戸2020ビジョン総括検証・評価報告書」を公開しております。 https://www.city.kobe.lg.jp/a89138/shise/kekaku/masterplan/jikikihonkeikaku00/kobe2025vision.html また、「取組みの視点」に代え、本ビジョンでは、ビジョンのテーマの核となる6つの「基本的な考え方」をまとめました。これらはビジョンの施策に取り組む際、市民とともに共有すべきものであると考えており、浸透させながら、ビジョンに掲げたまちの姿の実現に向け、着実に取り組んでまいります。</p>
7	<p>最重要なのは、神戸が大都市で全国一衰退してる点を認識していないこと。そのため、その原因も記載なく方針が空虚なものばかりになっている。</p>	<p>全国的な出生数の低下や東京圏一極集中に歯止めがかかっておらず、本市においても同様の傾向がみられる中、本ビジョンの策定にあたっては、神戸人口ビジョンの改定を行い、市の人口の現状分析や将来推計を行うとともに、「神戸2020ビジョン」の総括検証やアンケート調査などを実施し、人口減少の原因についてできる限り分析を行ってまいりました。これらを踏まえ、本ビジョンには、まち・くらしの質を高め、今後も魅力あふれる都市として発展していくために必要な施策を盛り込んでおります。これらを推進し、成熟都市としての魅力を訴求して、好循環へ転換することを目指していきます。</p>
8	<p>神戸は、震災後どんどん新しいものが取り入れられすっかり変わってしまったが、かつて株式会社神戸市と言われていた時代に振り替えてみてほしい。 三ノ宮を歩いても、新しいものが目立ってなかなか神戸らしい部分が見当たらない。市民の暮らしや芸術も良いが、神戸の魅力をもっと街に活かしてくれたらと思う。過去に神戸が賑わっていた時、エキゾチックでおしゃれな街と唄われていた時など、震災で失われた、復興しきれない神戸らしい魅力をビジョンに取り入れてほしい。</p>	<p>全国的な出生数の低下や東京圏一極集中に歯止めがかからず、本市においても同様の傾向がみられる中、新たな魅力を創出していくことは重要であると考えており、この観点から本ビジョンにも新たな視点から様々な施策を盛り込んでいます。 一方で、ご指摘のとおり、神戸の持つ独自の魅力を活かすという視点も重要であり、開港以降、いち早く外国文化を取り入れ、国内外から様々な影響を受けながら発展してきた多彩な芸術文化をはじめ、豊かな自然環境、国際性や多様性といった神戸の強みを磨き、活かしながら、市民が心豊かに幸せを実感できるまちを目指していきたいと考えております。</p>

9	<p>素案は課題が漏れなく網羅されていますが、これが達成したら人口減少に歯止めがかかるのか分からない。東京一極集中の影響は神戸に限ったことではなく、明石市のように人口増に成功した市が有る。他にも成功例は有ると思う。そのような例を分析し人は何に魅力を感じて転入しているのかを考え、他都市の真似でも良いので、限られた資源の中で一点突破の特色有る政策で話題を集めた方が良いでしょう。</p>	<p>本ビジョンは、人口減少など様々な社会課題に対応し、今後もまち・くらしの質を高め、魅力ある都市として発展していくために必要な政策の方向性について体系的整理を行ったものです。社会課題が多様化する中で、ある政策に特化することは難しいですが、本市を取り巻く社会経済情勢や、国の動向、国内の他都市や海外の先進的取組み等の分析を実施し、新たな視点を取り入れながら、人口減少社会に対応した先進的取組みを推進してまいります。</p>
10	<p>もっと具体策を検討すべき。目標や標語だけではだめ。</p>	<p>本ビジョンは、人口減少の抑制、また人口減少が進む中であっても、魅力あふれる都市として発展していくため、5年後を目途とする政策の方向性及び具体的な事業の例について体系的整理を行ったものです。</p>
11	<p>ビジョンの内容自体には異論はないが、記載されている項目が、具体的にどのようなプロセスを踏んで進められるかについては一切記載されていない。 本当にビジョンを実現させるつもりなら、実施項目を現在の3分の1程度にして、その代わり絞った項目の具体的な実施プランまで踏み込んで記載すべき。</p>	<p>今後、テーマに掲げたまちの姿の実現に向けて、施策に掲げた事業例にとどまらず、具体的で効果的な事業の検討・実施を推し進めてまいります。</p>
12	<p>市は大都市（東京 大阪）の真似ばかりしているように思えてならない。もっと独自性を持ってほしい。 神戸の良い処を引き出して考えてほしい。また民間に丸投げではなくもう少し関わってもよいのではと思っている。 市民の大部分が分かるように大きく告示し市民の財産となるようにしてほしい。</p>	<p>都市部に近接した海や山などの自然をはじめ、国際性や多様性、芸術文化といった神戸の強みを磨き、活かしながら、市民が心豊かに幸せを実感できるまちを目指していきたいと考えています。 また、本ビジョンは、民間企業の知見やノウハウなどを活用するとともに、有識者会議の議論、アンケートをはじめとした様々な調査を踏まえ、神戸の強みなどを分析しながら、策定をするものです。 策定したビジョンの周知・浸透については、内容を簡潔にまとめた電子パンフレットの作成、広報紙・SNS等を活用しながら広く市民へ発信してまいります。</p>
13	<p>前回の神戸ビジョンの実現具合がどうだったのかが、今回の神戸ビジョンに全く言及がない。今回の神戸ビジョンが前回の神戸ビジョンをどの程度踏襲して、どの程度あらたな項目となっているかは最低限記載すべきだと考える。</p>	<p>本ビジョンの策定にあたっては、「神戸2020ビジョン」の総括検証評価を実施し、その報告書を有識者検討会議や市会に報告、公開し、議論を重ねてまいりました。 なお、神戸市ホームページにおいて、「神戸2020ビジョン総括検証・評価報告書」を公開しております。 https://www.city.kobe.lg.jp/a89138/shise/kekaku/masterplan/jikikihonkeikaku00/kobe2025vision.html</p>
14	<p>KPI進捗（2020年途中段階）を公表しなければ、神戸2025ビジョンで新たな数値目標、施策のKPIを設定しても、神戸市としての本気度が伝わらない。</p>	<p>本ビジョンでは、神戸2020ビジョンでテーマとして掲げた「若者に選ばれるまち」「誰もが活躍するまち」を目指す考え方は継承しつつ、有識者からいただいたアイデアなどを踏まえ、ほぼ全ての施策に新たな視点を取り入れています。</p>

15	神戸2020ビジョンで掲げたテーマ「若者に選ばれるまち+誰もが活躍するまち」に対する総括はなぜないか。今回ビジョンを変えた背景・理由を明確に説明すべきである。そこには正直な反省の弁もあれば、神戸市の真摯な姿勢が伝わるのでは。	<p>本ビジョンの策定にあたっては、「神戸2020ビジョン」の総括検証評価を実施し、その報告書を有識者検討会議や市会に報告・公開し、議論を重ねました。</p> <p>なお、神戸市ホームページにおいて、「神戸2020ビジョン総括検証・評価報告書」を公開しております。</p> <p>https://www.city.kobe.lg.jp/a89138/shise/kekaku/masterplan/jikikihonkeikaku00/kobe2025vision.html</p> <p>全国的な出生数の低下や東京圏一極集中に歯止めがかかっておらず、本市においても同様の傾向がみられる中、神戸2020ビジョンでテーマとして掲げた「若者に選ばれるまち」「誰もが活躍するまち」を目指す考え方は、本ビジョンにおいても当然継承し、引き続き目指すべきものであると考えています。</p>
16	神戸2025ビジョンのKPI進捗に関しては、毎年度末あるいは年度初めに一貫したスタイルで、途中経過を公表する約束を市民にすることも、本当の意味での神戸市の活動の見える化につながる。	本ビジョンの進捗管理は、毎年度、テーマに掲げたまちの姿の実現に向け、数値目標やKPIの達成度、各施策の取り組み状況を把握するとともに、まちの質・くらしの質を示す客観的指標など様々なデータも踏まえながら、数値化による効果検証を行い、市のホームページなどで公開してまいります。
17	「基本目標ごとに定める数値目標の達成度、各施策の取り組み状況やKPIの達成度を把握」について、「数値化する」事を期待します。その上で達成状況の進捗を定期的に公開頂ければと思います。目標の進捗度合いは数値化しないと意味がありません。「これをやります」の目標と進捗度合いを数値化しなければ、何の意味もなさない目標となり下がると思います。	本ビジョンは、多様化する様々な社会課題に対応し、今後もまち・くらしの質を高め、魅力ある都市として発展していくために必要な政策の方向性について体系的整理を行ったものです。市民の方などに対しては、本ビジョンの周知・浸透を図っていくためにも、内容を簡潔にまとめた電子パンフレットを作成するとともに、広報紙・SNS等を活用しながら、広く発信してまいります。
18	記載された取り組み内容は、どれも極めて重要ものと理解している。しかし、市民にこれらの内容を読んでいただくには、あまりに文字量が大量過ぎるのではと懸念します。各取り組みの「現状・課題」、「取り組みの優先順位」、「取り組みの難易度」、「取り組むに当たって市民にも理解と協力を仰ぐこと」、などが端的に整理されて書かれていると、わかりやすい。	神戸の魅力国内外に訴求するためにも、様々なツールを通して、本市の取り組みを発信していくことは重要であると考えており、ご指摘を踏まえ、テーマの説明に追記いたします。まずは本ビジョンの周知・浸透のため、内容を簡潔にまとめた電子パンフレットの作成をすすめているほか、本ビジョンを都市プロモーションのツールとして活用し、広報紙・SNS等も活用しながら広く発信してまいります。
19	神戸市への人口流入、雇用創出を促進するため、神戸市の存在感を神戸市民及び日本国民、ひいては海外に対し、従来以上に強力にPRする強い意志と戦略も、今回のビジョンに加えても良かったのでは。	神戸の魅力国内外に訴求するためにも、様々なツールを通して、本市の取り組みを発信していくことは重要であると考えており、ご指摘を踏まえ、テーマの説明に追記いたします。まずは本ビジョンの周知・浸透のため、内容を簡潔にまとめた電子パンフレットの作成をすすめているほか、本ビジョンを都市プロモーションのツールとして活用し、広報紙・SNS等も活用しながら広く発信してまいります。

20	<p>関西圏下、兵庫県下での神戸市の位置づけ、使命という観点も交え、取り組み内容を描ければ、単なる人口の奪い合いではない、他の自治体との共存かつ差別化が、より明確に伝わるのではないか。</p>	<p>本市においては、兵庫県とは県市協調のもと各種取り組みを進めるとともに、隣接する市町や淡路3市等とも連携し、神戸圏域の発展や魅力の向上を進めてきました。</p> <p>また、関西広域連合の一員として、神戸市の強みを生かした取り組みを通じ、関西における広域的な課題に対する効率的・効果的な施策展開に貢献してきたところです。今後とも圏域の中核都市として、神戸市の役割を果たしてまいります。</p>
21	<p>神戸市の人口が横ばい、もしくは減少が続いている現状を打開する策として、神戸市、明石市、芦屋市、西宮市の4市が合併する「四市合併構想」を立ち上げ、4市が今までに持っているお互いの果実、強味を生かした戦略を練る必要がある。</p> <p>今まで通りの市政運営を行ったとしても、神戸市民の人口が今後増える見通しがなければ、市民にその賛否を問い、民主主義の手続きに則り、住民投票を実施すれば良いのではないか。</p> <p>大阪都構想で実施されたように、合併の意義、動機付け、メリット、デメリットについて市民への説明会を開催し、4つの市が一体となった合併構想を切り拓き、新しい神戸市を形成することを要望する。</p>	<p>日本全体の人口が減少しているなか、合併による人口増加を図るのではなく、新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ、他都市にない神戸の豊かな資源を大事にし、活かしていくことで、「高密度至上主義」から脱却し、疎密のバランスの取れたまちを目指していく必要があると考えています。また、各自治体がそれぞれの有する資源を有効に活用し、持続可能な形で行政サービスを提供していくためには、周辺都市をはじめとした都市間連携がますます重要となっていくと考えており、周辺都市との連携や関西広域連合での取り組みを進め、神戸圏域の発展や魅力向上を進めてまいります。</p>
22	<p>近年の地球温暖化等による異常降雨などの異常気象により、日本でもこれまで想定されなかった規模の洪水、高潮等による被害が発生している。今後も地球温暖化が進むと、さらなる災害の発生により、一層甚大な被害を生じる恐れがある。二酸化炭素の排出量を減らすといった温暖化を進行させない施策も重要だが、人間の一定のクオリティオブライフの維持のためには、温暖化の一定の進行も念頭に置かねばならない。気候変動を抑えるという発想だけではなく、一定の気候変動について想定しつつ市政を行う、という観点も重要である。</p> <p>基本目標4の中で「防災・減災の取り組み」について記述があるが、この取り組みはSDGsの17のゴールのうちの「13気候変動に具体的な対策を」に該当し、基本目標のゴールに加えるべき。</p>	<p>ご指摘の通り、気候変動を抑えるだけでなく、気候変動により発生しうる災害などに備えながら市政運営を行っていくことは重要です。基本目標4に、SDGsのゴール「13気候変動に具体的な対策を」を追加いたします。</p>

23	<p>住民税が高く、日本全国で比較すると6位前後である。高いと感じるのは数字上で大きいからという点だけでなく、使い道が現役世代にとって魅力的では無い。神戸の文化的な背景を理解しつつも、高齢者向けの政策、外国人向けの政策については、長期的な目線で予算を抑えていただきたいと思う。</p> <p>具体案をあげると、老人ホームを多く作ることは、長い目で見て予算の節約と、土地を空けることで別の方向性への舵取りをするきっかけになるかと考える。日本全体で空き屋率も上昇しているが、マンションの1室が点々と空いても神戸市の土地の確保に時間がかかり、医療や介護の手間もかかる。日本は生涯独身率も上昇しているため、今までにあった老人ホームをの概念を覆すような「高齢になっても入れる宿舍付の学校」のようなものをつくるのはどうか。地域にちらばっているスポーツや文化活動を大勢で出来る利点もある。</p>	<p>介護保険施設等の整備にあたっては、団塊の世代が後期高齢者となる2025年度における高齢者人口や施設利用者数の伸びを推計し、高齢者のさまざまなニーズに対応できるよう「介護保険事業計画」に基づき、多様な各施設の担う役割や地域的なバランスに配慮しながら継続して整備を行ってまいります。また、新たな高齢者住居の整備を含む地域包括ケアや高齢者の活躍についても、本市としても重要と考えています。いただいたご意見は今後の施策の参考にさせていただきます。</p>
24	<p>新しい生活様式に移り行く中で、神戸は非常に魅力的な都市だと思います。すぐに近くに大きな都市である大阪があり、人が特段多くなく、自然と密接な都市。職場に行かなくても簡潔する職種において魅力があります。しかも、そういう方々は高収入な方が多いと思います。</p> <p>ここに重点を置き、属性や嗜好性を研究し、響くコンテンツの選択と磨き上げによって、そういう方々を誘致できるのではと考えます。</p>	<p>感染症の流行により自然環境へのニーズが高まる中、都心部に近接した豊かな自然をはじめとした神戸の強みを磨き、活かしていくことは重要であると考えており、「六甲山上スマートシティ構想の推進・都市型創造産業の集積」や「持続可能な農業と農村地域の活性化」などの施策を盛り込んでいます。これらの施策を磨き、より効果的なものにしていきながら、関係人口の拡大や移住促進につなげてまいります。</p>
25	<p>「4. 神戸市withコロナ対応戦略の策定と2025神戸ビジョンへの反映」について「①市民のみなさまの不安にいかに向き合うか。②『高密度至上主義』からいかに脱却するか。③「人」と「人」との絆をいかに紡いでいくか、を重要な視点と捉え」とありますが、市が市民にどのようなサービスを提供していくかの目標が述べられている印象があります。市と市民が目標に向かって共に汗を流すという視点が欠けているように思います。「人」と「人」との絆を紡ぐには、市民の力が不可欠です。そのためには、ビジョンに市民がどんな形で参画するのかということが述べられていないので、このビジョンの実現性に不安を感じます。</p>	<p>本ビジョンのテーマ「海と山が育むグローバル貢献都市」は、コロナ禍において、市民や神戸を応援してくれる方々の他者のために貢献する利他の思いを大切にし、醸成して広げていくことにより、市民が心豊かに幸せを実感できるまちを目指していきたい、という思いを込めて設定いたしました。</p> <p>ご指摘のとおり「人」と「人」との絆を紡ぐには、この利他の思いが不可欠であり、ビジョンに追記し、市民の参画を促進してまいります。</p>
26	<p>そもそも、2025と言いながら、即物的対応に見え、遠い未来に向けての要素を感じられない。40年前にはファッション都市、現在はデザイン都市など、時代に左右されるものではなく、「環境都市」など神戸の歴史や地理的条件に即した普遍的なテーマが必要なのではないかと。</p> <p>単に自然を守るではなく、神戸に与えられている「海、まち、山」の魅力を最大限に生かすこと。現在はそれらの豊かな素材を生かしきっていない。もっと人間本来の、日々楽しい活気のあるまちに復活させてほしい。</p>	<p>本ビジョンは、2025年度（令和7年度）までの神戸の都市像、まちづくりの方向性を示した長期の「新・神戸市基本構想」、「神戸づくりの指針」を実現するための実施計画であり、今後5年間に取り組むべき政策の方向性について体系的整理を行ったものです。策定にあたっては、有識者のご意見やアンケート調査などとおして、神戸の地理的特性や強みなどを分析してまいりました。ご指摘の通り、感染症の流行により自然環境へのニーズが高まる中、都心部に近接した自然をはじめとした神戸の強みを磨き、活かしていくことは重要であると考えており、本ビジョンに基づき、着実に取り組みを進めてまいります。</p>

27	震災後に移り住んで来た人も含め、市民が大切にしたいと思っている価値観は、みなと町としての気風、特に「進取の気風」であると考えます。それは、今の時代背景を踏まえても、決してノスタルジーとしてのハイカラではない。	古来より海外との貿易港として栄え、開港以降、いち早く外国文化を取り入れるなど、これまで神戸が育んできたクリエイティブな「進取の気風」は、ご指摘の通り、変化のスピードが早い今の時代において、重要な価値観であると考えています。この価値観を大切にしながら、基本的考え方にも掲げておりますとおり、神戸の強みを磨き、活かした新たな価値・スタイルを創造してまいります。
----	--	--

2. 「基本目標1」へのご意見（16件）

NO	意見の概要	意見に対する本市の考え方
1	<p>持続可能な成長産業の市域への投資を積極的に進め、多様な雇用機会を創出するとともに、市内の大学等を卒業した若者が、市内で希望が叶う就職をし、企業とともに成長し、自己実現できる社会を実現してほしい。</p>	<p>雇用の場を生み出す企業誘致の推進として、令和3年度～7年度の雇用創出数（医療関連企業を含む）3,400人の目標を掲げています。従来の産業団地への企業誘致に加え、都心地区を中心としたオフィス誘致、更にはスタートアップの発掘・育成や進出企業との連携を推進することにより、新たな企業集積やイノベーションの創出につなげ、雇用の場の創出と神戸経済の活性化を実現したいと考えています。</p>
2	<p>テクノロジーを導入し域内循環を図るとともに、企業と連携して先進的な取り組みを行う実験都市を目指すべき。これにより、市民が安全安心に暮らし、市民生活の豊かさや利便性の向上につなげていただきたい。</p>	<p>ICTテクノロジーを駆使したビジネス展開にチャレンジするスタートアップと連携・協働し行政課題の解決を目指す「Urban Innovation KOBE」や、最先端技術を活用し人間中心の目線で社会課題を解決する「Human×Smart」な都市づくりを目指す「Be Smart KOBE」など、実証実験に積極的に取り組んでいます。産学官民で連携して、市民の利便性・QoL向上や新規の産業・雇用の創出による経済活性化につながる新たな価値・サービスの創出を目指すスマートシティの実現に引き続き取り組んでまいります。</p>
3	<p>これまでの神戸市の産業を振り返ると、重工業が神戸経済の主力産業であり、観光、ファッション、医療産業を市の看板施策として、掲げて来た歴史があったと思う。しかし、5年後を見据えた時、旧態依然の施策を講じているだけでは、制度疲労を起し、飽きが来ると痛感している。</p> <p>やはり港の特性を生かし、自由貿易が盛んな街、商社が活躍でき都市へと、変化しなければならぬ。</p> <p>市内に商社オフィスの戦略的拠点を設け、中国、韓国、インドはもとより、現地法人を設立し、コラボレーションが可能な都市整備を行う必要がある。</p> <p>また、中央アジア諸国に対しては、エネルギー分野、流通市場への参画・協賛を段階的に進めてゆくことが求められていると思う。</p>	<p>神戸港など神戸のまちのポテンシャルや特性を活かしながら、新たな産業の創出や成長分野における、商社を含む企業誘致に取り組んでいくことは重要であると考えております。ご意見については、今後の施策の参考とさせていただきます。</p>
4	<p>5年後の神戸を見通した時、金融では、強い都市は形成する事は出来ない。</p> <p>市としては、金融ではなく、サービス業（美容師、着物コンサルタントなど）の分野で、人材が活躍出来るフィールド、都市経営を構想する必要がある。</p> <p>コロナの影響で、サービス業を営む市民が他市に引っ越し、神戸市を離れた人材が存在する一方で、神戸市くらいの中規模都市で、腰をじっくりと添え事業を展開したいと考えている市民も存在することは明白であり、長期的視野に立脚し、サービス業の盛んな街・神戸を目指す舵取りを行うよう要望する。</p>	<p>本市では、製造業や商店街、地場産業など様々な産業の活性化に取り組んでいます。サービス業については市内事業者の約5割を占めており、これらの事業者の方々に対する支援を行うことは大変重要であると考えております。今後も引き続き、神戸が活力あるまちとなるよう、サービス業をはじめとする幅広い産業の活性化に向けた取り組みを進めてまいります。</p>

5	<p>現状、神戸市が募集している物流施設用途は数少なくなっていると思う。 新たに神戸市内（特に内陸エリア）での物流施設、分譲用地開発を実施して頂きたい。 希望エリアとしては、神戸テクノロジスティックパークよりも東側かつ高速 IC付近での分譲開発用地があれば、お客様からの物流ニーズが多数見込まれると思う。</p>	<p>本市では、これまで臨海部および内陸部において、市内企業の移転拡張による成長、新たな活力としての市外からの企業誘致を目的として、良質な産業用地の整備・供給に努めてきました。その結果、特に内陸部における産業用地のストックが残りわずかな状況となっています。 今後のwithコロナ・ポストコロナ時代を踏まえ、物流を中心とした新たな需要、また市内企業のサプライチェーンの強化や再構築への対応といった観点からも、内陸部における新たな産業用地の供給について検討を行いたいと考えております。</p>
6	<p>六甲山にある研修施設を使用することがあるが、交通の便が悪く、際立った利点が見いだせない。 六甲山上でスマートシティを構築するより、有馬温泉の既存の宿泊施設を活用する方が、温泉で仕事ができるためモチベーションが上がり、コロナ禍でダメージを受けている宿泊施設にとっても収益になるため、利点があると考えます。</p>	<p>新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、リモートワークが定着し、都市の密な空間を避けた新しい働き方が注目されています。六甲山は豊かな自然環境でありながら、都会からのアクセスが比較的良好であり、「withコロナ」時代において、働く場所としても新たな可能性があると考えています。山上からの美しい景色を眺め、閑静さを感じながら、集中してクリエイティブに働くことができる空間を実現し、多くの方に六甲山を訪れていただけるよう取り組んでまいります。また、ご指摘の通り、有馬などの観光地は「働く場所」としてのポテンシャルも有するため、ワーケーションなどで活用ができないか検討してまいります。</p>
7	<p>海外からの就労者に対して安い公共住宅を供給するのではなく、日本の若者達にも必要ではないか。</p>	<p>「⑩ 在住外国人との共生の推進」に記載のシェアハウスは、日本人も入居できる支援制度となっております。 また、市営住宅では、国籍を問わず、学生に住宅を廉価で提供する学生向住宅の募集や、子育て世代が安心して生活できるよう子育て世帯向け住宅の募集も行っています。 今後もこれらの取り組みを推進し、若者達を支援していきたいと考えています。</p>
8	<p>神戸の農業の「作物のブランド化」が必要だと思えます。神戸だからこそ栽培の優位性がある作物を指定し、そのブランド化を行う、マーケティング要素が必要なのではと考えます。ある程度自治体の指針がありましたら、農業関係者も栽培しやすくなるのでは。と思えます。</p>	<p>他都市に比べて生産地と消費地が近い神戸市では、多種多様な農産物が生産されています。これまでも「こうべ旬菜」などブランディングに取り組んできましたが、近年新たに戦略的拡大品目として、いちじくの生産支援や食材フェア等を通じた情報発信によるブランド化を図っています。今後「食都神戸」を推進していく中で、いちごなど神戸らしい農業や農産物の情報発信に取り組みます。</p>

9	<p>成長の香りがしない</p> <p>今後都市はスマートシティ化へと向かわざるをえない。同時に追求すべき価値は、データ主権経済、自己主権経済といった新経済を筆頭とする「新たな生業」を創り出していくことにある。特に都市型クリエイティブ産業の起こりが出遅れてしまった当地はここでキャッチアップしていくしかない。</p>	<p>本市としても、テクノロジーの進化やデータの重要性を踏まえながら、新たな産業を創出していくことは重要であると考えています。内閣府は、スマートシティの推進に必要な構成要素をシステム面のみならず戦略から組織まで含めて幅広く提示することを目的に、「スマートシティリファレンスアーキテクチャ ホワイトペーパー」を公開しており、本市もこれに基づき2025年を目標とするロードマップの策定を進めているところです。都市や企業などの枠組みを超えてデータやサービスを自由かつ効率的に連携させることにより、新規の産業・雇用、新たな価値・サービスを創出していきながら、市民の利便性・QoL向上を図る「人間中心のスマートシティ」の実現を目指していきます。この考え方にに基づき、2025ビジョンにおいても、テクノロジーの実装・デジタル化の加速による市民生活の豊かさや利便性向上を基本的な考え方に掲げ、都市型創造産業の集積や行政手続きスマート化、デジタルヘルス分野の研究開発の促進等、具体的な施策を推進してまいります。</p>
10	<p>大学と企業との関係性を今以上に深める施策が必要と思います。それには大学生が持つニーズ・楽しみ・興味があるコンテンツを企業が勉強する必要があるのと同時に、企業の若返り(神戸には悪い意味で古い会社が多い)を促す企業への教育体制が必要だと感じます。柔軟な思考ができる企業が多くなれば必然的に若者も大学の多い神戸に留まります。</p>	<p>ご指摘の通り、大学と企業との関係性を促進していくことは重要であると考えており、「⑪大学などの連携促進」などの施策を盛り込んでいます。本市としても就職意識などに関する大学生アンケート調査などを引き続き実施し、これらの結果も分析し、地元企業との情報共有や啓発を推進しながら、若者に魅力的な仕事づくりを進めていきます。</p>
11	<p>神戸医療産業都市は構想立ち上げから23年が経過した。国はグリーン成長戦略やDXを重点政策として掲げており、例えばデータを活用して市民の健康増進に資するAIデジタルヘルスの分野など、アカデミアやテクノロジー企業と国際的に連携し、新たな取り組みを進めていただきたい。</p>	<p>ご指摘のとおり、ヘルスケア分野など様々な企業等との連携が可能な神戸医療産業都市の強みを活かし、企業ニーズを踏まえたヘルスケア関連データの取得などにより、デジタルヘルス分野の研究開発の促進に取り組めます。</p>
12	<p>基本目標1⑥神戸医療産業都市の推進の項目に対する、事業例とKPIが一致していないように思う。神戸医療産業都市の推進を謳うのであれば、KPIを国産手術支援ロボットのみではなく、「新規薬事申請承認件数〇件」や「医療関連企業数〇社以上増加」といったものにすべきではないか。</p>	<p>神戸医療産業都市では（薬事承認に向けた）事業化支援を行っております。支援の程度や段階によりその後の捕捉が困難であることから数値目標は定めておりませんが、引き続き支援に努めてまいります。</p> <p>また、企業数の増加につきましては、医療関連企業・団体を含め全市的に企業誘致を推進することとしており、KPIとして全市で3,400人（令和3年度～7年度）の雇用創出を目指します。</p>
13	<p>医療都市神戸を強化する為、アジアの富裕層をポートアイランドで、受け入れるインフラの整備について追加検討をお願いします。</p>	<p>神戸医療産業都市では、高度医療を希望するアジア諸国等の海外患者の受け入れ窓口を神戸大学医学部附属病院国際がん医療・研究センター内に設置し、事前の医療情報などから受入可能と判断した患者を順次、受け入れしています。</p> <p>引き続き、神戸大学との連携のもと、院内文書の多言語化やスタッフの語学研修等を実施し、海外患者の受け入れ体制の整備を一層進めてまいります。</p>

14	<p>国際化、外国人といったところでは、多文化共生や日本語教室など、およそ留学生や技能実習生のような人たちしか視野に入っていないように見え、神戸らしいとは言えない。</p> <p>外国資本の投資をどんどん呼び込む、外国企業がアジアでビジネス展開する際の拠点になる必要がある。そのためには、法律や行政手続き含め、「神戸市内では、ビジネスも生活も英語だけで遂行可能」という、21世紀の居留地をイメージしていかないといけない。</p>	<p>海外から企業や人材を呼び込むためにも、言語を始めとした環境整備を行っていくことは重要であると考えています。英語のみの環境とすることは難しいですが、「やさしい日本語」の活用や医療通訳システムへの支援拡充などをおして、外国人が安心して過ごしていけるような環境を整備してまいります。</p>
15	<p>「女性が活躍できる環境を整える」は非常に重要な視点である。</p> <p>神戸は大学等に市外から多くの女性が集まっているなど、女性の活躍を後押しすることで更に魅力的な都市になる素地がある。</p> <p>市内大学の卒業生に市内で住み、働いてもらう取り組みだけでなく、指導的地位にある女性を更に増加させることや、リカレントなど、一度職を離れた女性の再就職を支援する取り組みが重要。</p> <p>名谷には地域の女性が働く拠点がありますが、コワーキングスペースや相談ができる拠点施設を充実させてほしい。</p> <p>存在感を発揮する女性がモデルとなり、神戸で生き活きと女性が活躍できることを発信できれば、さらに女性が集まり、好循環が生まれるのではないかと。</p>	<p>女性が活躍できる環境づくりは、本ビジョンの実現に不可欠であり「基本的な考え方」の1つとしています。</p> <p>女性のキャリアアップ・再就職の支援のほか、女性リーダーの育成・ネットワークづくり、コワーキングスペースの拡充など、女性が働く希望をかなえ、ライフイベントに左右されずにキャリアを形成し活躍できる環境づくりは大変重要であり、「基本目標1」に取り組みを追記いたします。</p>
16	<p>女性目線が全く感じられない。これまで時代を牽引し、これからの生活文化を担うのは女性である。1970年以降、ほぼすべての企業活動は女性をターゲットに考えられて来た。</p> <p>社会的には女性進出とか言いながら、実のところ若者たちでさえ年をとると男社会に慣れ切ってしまう。ここは根本的に考え直してもらいたい。女性および中性の意識、行動が社会そのものを動かすとする。</p>	<p>これからのまちづくりには、女性をはじめ多様な市民が参画し、誰もが包摂され個性と多様性が尊重されることが大変重要です。</p> <p>本ビジョンの策定に向けた有識者会議の委員の半数は女性であり、「ジェンダー平等の視点を確保し、女性が活躍できる環境を整える」ことを基本的な考え方の1つとしています。</p> <p>女性の活躍できる環境づくりの取り組みを「基本目標1」に追記いたします。</p>

3. 「基本目標2」へのご意見（14件）

NO	意見の概要	意見に対する本市の考え方
1	<p>子育て支援について、明石市と比べると劣っている。神戸にしかない子育て支援をお願いしたい。例えば、保育所の拡充をお願いしたい。神戸を自分が育った町と思ってもらえれば、将来的に神戸のためになるのではないか。外国人も多い神戸が育児のしやすい町になれば、日本人も外国人も長期的に愛着を持ってもらい、将来、神戸に人を呼ぶきっかけを作ってくれると思う。</p>	<p>本市としては、政令市最高水準の妊婦健診助成をはじめ、政令市第2位の児童館数、希望者を全員受け入れる学童保育の実施など、他都市と比較しても遜色のない子育て支援施策を実施しており、神戸にしかない一番の特色は、妊娠・出産期、学齢期を通じた「切れ目のない子育て支援」であると考えています。</p> <p>子ども・子育て施策については、限りある財源のなかで、子育てに係る多様なニーズに応えていくためにも、受益と負担のバランスや制度の持続可能性を考慮しながら、「切れ目のない子育て支援」の充実に取り組んでまいります。</p> <p>また、保育所の拡充については、待機児童の解消を目指し、様々な方法で保育定員の拡大に努めており、令和元年度は全市で約1,400人分の定員を拡大し、さらに、令和2年度は約1,000人分の定員拡大を計画し、整備を進めています。</p> <p>令和3年度以降も、引き続き保育定員の拡大に努め、安心して子どもを生み育てることができるまちの実現を目指していきます。</p>
2	<p>義務教育すぎてからが一番お金がかかるので、20歳までの医療無料など、若者中心にすべき。</p>	<p>本市では、こども医療費助成制度は県市協調事業として実施しながらも、市単独で順次制度を拡大してきました。</p> <p>平成27年7月には、既に無料化を実施している1・2歳児の所得制限を撤廃し、すべての3歳未満児の医療費の自己負担を無料化、平成28年7月からは、未就学児までの所得制限を撤廃し、3歳から中学3年生までの外来に係る一部負担金を1回上限500円から400円に軽減しました。</p> <p>一方で、所得制限を設けたままですと、中学生のお子さんの約4分の1の方がこの制度の恩恵を受けられないことから、平成29年7月に、小学1年生から中学3年生までの子どもの保護者に設けていた所得制限を撤廃し、中学3年生までのすべてのお子様が無料または低額な負担金（1日400円上限 3回目以降無料）で受診できる環境を整えています。</p> <p>さらに、令和3年度からは、入院医療費無料化の対象年齢を18歳まで拡大する予定です。</p> <p>今後も、子育てにかかる様々なニーズに応えながら、必要とされる施策をバランスよく積み重ね、子どもの成長過程に応じた切れ目のない支援を引き続き実施していきたいと考えています。</p>

3	<p>基本目標2 妊娠・出産・子育て支援と特色ある教育環境の充実について、「特色ある教育環境の充実」とあるが、まず中学校の授業崩壊している現状をなくすこと。授業崩壊が収まらないうちは、クラスの騒音に耐えられない生徒も登校拒否する選択しかない現状ではなく、学校内に学習できる場所を確保してほしい。</p> <p>授業崩壊の根本原因は、生徒と先生の信頼関係の不成立にある。個々の習熟度や学びの意欲に寄り添えないカリキュラムや体制に原因がある。</p> <p>中学校の大改革に取り組んでほしい。</p>	<p>事務局の担当者が学校へ定期的に訪問を行い、学校や教職員の状況等を把握し、学校・学級運営に関する課題や問題が発生した場合には、その状況に応じた対策を講じ、その解決を図っていきます。今後も、教育委員会事務局と学校が課題を共有した上で、個々の具体的な状況に応じて、迅速に対応できるように努めてまいります。</p>
4	<p>『障がい児やひとり親家庭への支援』とあるが、その具体的なKPIは何か。</p>	<p>障がい児やひとり親家庭への支援については、具体的な数値で指標化することが困難ではありますが、「神戸っ子すこやかプラン2024」に定めた目標に基づき、必要な支援策の充実に努めています。</p> <p>障がい児・医療的ケア児等への支援としては、対象児童の成長段階や特性に応じた専門的な療育・相談体制の充実や教育・保育施設等へのインクルーシブの推進、医療的ケア児等の受け入れ対応の充実等に向けた施策展開を行い、ひとり親家庭の施策については、就業支援、子育て・生活支援、養育費確保、経済的支援の4本柱を据えて、ひとり親家庭の自立に向けた総合的な施策展開を行っています。</p>
5	<p>療育事業に関して利用させてもらっているが機関が多く、保護者の立場から、どこが何をしているのか、何の責任を持っていて、どこに相談したらいいのかわからない。組織の一元化、あるいはピラミッド型の関連性に整理はできないか。</p>	<p>子どもの発達相談の窓口は、多様な機関があることから、これらの関係機関の役割を明確にし、発達相談体制の整理への検討を始めているところです。</p>
6	<p>総合療育センターに通所させてもらっており、4月後半に指導員(クラス担当)の異動があるが、発達障害の子どもは環境変化に弱いので、それをやめていただきたい。</p>	<p>本市職員の担当者異動については、原則4月後半と10月当初の2回に分けて全市で一斉に行っています。</p> <p>一方で、療育センターにおいては、可能な限り年度途中で指導員が交代することを避けるため、指導員の多数を占める保育士について、3月下旬に人事異動を行っているところです。</p> <p>その他の職種の指導員については、交代により療育に影響がでないように職場全体で連携を図りながら、引き続き子ども達への支援に努めていきたいと考えています。</p>

7	<p>「障害を持っている子」に対する情報が発信されているようには思えない。「障害を持っている子」は普通のイベントには参加できず、児童館にも容易に行くことはできない。「障害を持っている子」に対する情報はそもそも少なく散在しているため、「障がい児やひとり親家庭への支援」として「障害を持っている子」の情報発信と情報が整理されたサイト等を整備してもらえないか。</p>	<p>「障害を持っている子」に対する情報については、令和2年3月に「障害のある子ども・医療的ケアが必要な子どもの支援ハンドブック」を発行し、利用いただける福祉サービス等をまとめています。</p> <p>また、本内容については神戸市子育て応援サイト「ママフレ」にも掲載し、情報発信を行ってまいります。</p>
8	<p>放課後に自習できるような場所が兵庫駅周辺にない。家庭内で学習環境が整わないこどものために、兵庫図書館内で自習スペースを新設するか、指導運営委員をつけて兵庫文化センター内に新設するか、検討願う。</p> <p>地域の無償ボランティアに頼るのではなく、貸スペース費用と、指導運営委員の給与をつけて公的な自習室運営事業として立ち上げてほしい。放課後の利用に限らず、学校が授業崩壊で登校できない子たちの学校外の学習拠点としても活用できるよう願う。</p>	<p>放課後などに学習ができるスペースを整備していくことは重要だと考えており、ご意見を踏まえ、そのような学びの環境整備をしていく旨、追記いたします。今後、文化センターや神戸市男女共同参画センターの貸会議室等の空き時間帯を活用し、放課後や長期休業期間の平日を中心に無料で利用できる学習スペースを設置してまいります。</p>
9	<p>教育について力強さが見えない。足だけでなく、引くことも考えたほうがいい。昭和から変わらないものについて改革を進め、神戸の学校にあこがれて市外から転入者が出るようでないといけない。</p>	<p>教育委員会として、度重なる不祥事を踏まえ、変えるべきものは変えていくという強い決意で、学校と事務局が一体となって複雑・多様化する教育課題に対応し、学校教育のさらなる充実、児童生徒の健全な育成につなげていきます。また、この推進にあたっては、有識者の知見も活用して取り組み状況の点検や評価を行い、見直しや改善を重ねながら進めているところです。「数値目標」に記載の通り、在住者アンケート「教育環境が良いまち」の評価70%以上（令和7年度）を目指し、今後も、市民の皆さまのご意見や学校現場の状況を踏まえながら、本市の教育環境の充実に全力で取り組んでいきます。</p>
10	<p>子供に対しての教育の視点は理解しているが、根本的に神戸市の教育体制の変革を望む。例えば、教員同士のいじめ問題や、メンタル疾患から復帰した教員が特別支援学級に異動されることが多いこと、学校ごとに異なる発達障害の子どもに対する対応などに課題があると感じており、小中学校の教員、教育委員会を包括する形での教育体制に対する施策を展開し、KPIに設定してもらいたい。</p>	<p>教育委員会として、度重なる不祥事を踏まえ、変えるべきものは変えていくという強い決意で、学校と事務局が一体となって複雑・多様化する教育課題に対応し、学校教育のさらなる充実、児童生徒の健全な育成につなげていきます。また、この推進にあたっては、有識者の知見も活用して取り組み状況の点検や評価を行い、見直しや改善を重ねながら進めているところです。「数値目標」に記載の通り、在住者アンケート「教育環境が良いまち」の評価70%以上（令和7年度）を目指し、今後も、市民の皆さまのご意見や学校現場の状況を踏まえながら、本市の教育環境の充実に全力で取り組んでいきます。</p>
11	<p>設定されているKPIは、実施されれば達成されるものであり、難易度が高いとは思えない。「保護者の神戸市の教育体制への満足度ないし信頼度 80%以上」や「教員が仕事に達成感を感じている比率 80%以上」などのKPIを設定し、教育体制の見直しをしていただけないか。</p>	<p>教育委員会として、度重なる不祥事を踏まえ、変えるべきものは変えていくという強い決意で、学校と事務局が一体となって複雑・多様化する教育課題に対応し、学校教育のさらなる充実、児童生徒の健全な育成につなげていきます。また、この推進にあたっては、有識者の知見も活用して取り組み状況の点検や評価を行い、見直しや改善を重ねながら進めているところです。「数値目標」に記載の通り、在住者アンケート「教育環境が良いまち」の評価70%以上（令和7年度）を目指し、今後も、市民の皆さまのご意見や学校現場の状況を踏まえながら、本市の教育環境の充実に全力で取り組んでいきます。</p>

12	<p>神戸市外国語大学に限らず、神戸市看護大学や神戸市立工業高等専門学校も、神戸市立の高等教育機関として、国際社会で活躍できる人材の輩出に積極的に取り組み、神戸の特色であるダイバーシティなまちづくりをより一層進めていただきたい。</p>	<p>御指摘については、神戸市看護大学においても重要な課題であると考えております。このため、中期目標の中で「学術研究、地域貢献活動、国際交流の推進等による大学ブランドの確立」を掲げ、海外での看護学研修や海外の大学への教員派遣による共同研究の実施など「グローバルな視点を培う、国際交流の推進」に取り組んでいます。</p> <p>市立工業高等専門学校では、工学的知識を備えつつ国際社会で活躍できる人材を輩出するため、校内に国際協働研究センターを設置し、海外5校の大学等との教育研究提携協定の締結など、国際交流活動を通じて国際性を育む取り組みを行っています。今後、社会・経済のグローバル化がますます進展することを踏まえ、卒業生が国際社会で一層活躍できるように、産業界との連携強化など、社会の要請に応えうる実践的な教育の充実を積極的に進めていきます。</p>
13	<p>施策が子供にフォーカスされているが、教育を担う現場の先生方に対する施策も実施すべきではないか。</p>	<p>「基本的方向」に記載のとおり、学校園業務の適正化の推進や教職員の事務負担の軽減など教職員の働き方改革を推進していきます。教職員が心身ともに健康でいきいきとした姿で子どもの前に立つとともに、自分の時間を有効に活用し、日常社会での経験・研鑽によって幅広い人間性を身につけることで、教育全体の質を高め、子供の健やかな育成につなげます。</p>
14	<p>「子供への教育」は都市として投資効果が最も高い分野だと思います。親が住みやすい環境に住み、子供を育て、子供は高い教育を受け、高い年収を稼ぎ、住みやすかった神戸に留まり、高い納税を支払う。このサイクルは普遍的に永続的に循環すると思います。ここで共通する市民の高い関心は「教育」です。都市はもっと「教育」に投資すべきだと感じます。</p>	<p>まちの質・くらしの質を一層高め、成熟した魅力あるまちを実現するためには、教育の充実は重要な要素です。神戸で育つ子どもたちが、次代の神戸を支え貢献する人間となり、子どもたち自身の豊かな人生とより良い地域社会の形成につながるよう、多方面にわたる教育施策の改善・充実に力を入れて取り組んでいきます。</p>

4. 「基本目標3」へのご意見（20件：再掲除く）

NO	意見の概要	意見に対する本市の考え方
1	<p>「基本目標3 多様な文化・芸術・魅力づくり」について。 本文10行目から「まちづくりの観点では・・・住み心地の良いまちづくりを進めていきます。」とありますが、そこに住む市民にとって住み心地が良いと思える要素は何か。地域によって違いがあると思います。単に建物をきれいにし、設備をつくることではないはず。現在、西神中央駅周辺のリノベーションでは、行政各部署バラバラにハードをリノベーションする計画が進められ、住民の視点・意見がほとんど取り入れられていないように感じます。文章のどこかに、「住民とともに」を入れていただけないでしょうか。</p>	<p>まちづくりにあたっては、必要に応じて説明会などを実施し、地域に住む市民の方のご意見を伺いながら進めてきたところですが、ご指摘のとおり、住民の視点やご意見は重要な要素であると考えています。ご意見を踏まえ、市民の参画をいただきながらまちづくりを進める旨を追記いたします。</p>
2	<p>神戸市内で長く生活していて、気が付く事は、神戸弁の品の悪さ、柄の悪さである。この先、神戸市が飛躍・発展してゆくためには、品格ある言葉の改造が必要だろうと考える。そのためには、神戸弁の廃止を訴える。 「スマート・ランゲージ構想」を、策定する事を要望する。全国共通に話している標準語を、神戸市民は習得し、上品な話し方を身に付けることが求められると考える。市民に対し、品のある日本語を習得させる場（話し方教室）を開設し、日本語指導講師を養成することを提案する。</p>	<p>ご意見については庁内で共有し、今後の政策の参考とさせていただきます。</p>
3	<p>神戸城の築城を提案する。 市内に、城が建設されていれば、市民が姫路城や、大阪城へ日帰りで観光でかかる交通費や、入館料や、飲食代金などが軽減でき、歴史や、建築に関心がある人々からも、神戸市に人を呼び込める利点も発生する。 また、社会学習の郊外授業の観点からも、城巡りを行うことで、実体験を通じて、社会科の科目に興味を沸き上がり、教育の向上にも寄与する側面がある。 街の景観、魅力度、外国人観光客の神戸市の認知度などを総合的に判断すれば、「城」の築城に違和感はない。</p>	<p>六甲山や神戸港、有馬温泉など神戸ならではの観光資源や多彩な魅力を発掘し磨き上げていくことは重要であると考えており、本ビジョンにも盛り込んでいるところです。いただいたご意見については、今後の政策の参考とさせていただきます。</p>
4	<p>観光は大事だが、県外の人に「神戸に何有る？」と聞かれ答えに困る。異国情緒といわれても、東京のほうがよほどいろんな外国のものに触れることができる。神戸には何があるのでしょうか。</p>	<p>本市には、異人館や中華街のほか、六甲山や神戸港、有馬温泉、灘五郷などの観光スポットが多く点在しています。神戸の多彩な魅力を県外の方に知っていただくことは重要であると考えており、神戸観光局公式サイトFeelKOBEではモデルコースをご提案しております。今後も引き続き神戸の観光地の魅力発信に努めてまいります。</p>

5	六甲アイランドを活性化するための施策として空室となっている施設を利用し留学生、地方からの学生に安価に宿泊施設を提供してはどうか。	<p>・六甲アイランドの中心部にある既存ビルについては、民間事業者が所有しているビルが大半を占めており、直接的に本市がテナント誘致などを行うことは難しいですが、今後、テナント床を所有している各事業者間での情報共有を図り、地域ニーズ等を踏まえながら一体となった施設誘致に向けた取り組みを進めていきたいと考えており、頂いたご意見については今後の参考にさせていただきます。</p>
6	芸術祭の実施について追加検討をお願いします。	<p>神戸市では平成19年に第1回神戸ビエンナーレ※1を開催してから平成27年まで2年に1度芸術祭を開催してきました。第1回ビエンナーレを開催した当初の状況から現在は、地域振興に主眼を置いた開催規模も大小様々な形で芸術祭が日本各地で開催されるなど、芸術祭を取り巻く環境は変化しております。</p> <p>全国で様々な芸術祭が行われている中で、市がこれまでのように直接的に芸術祭を行っていくべきなのか検討する必要があると考えており、今後の芸術祭の在り方については、現在、市が開催支援している「六甲ミーツ・アート芸術散歩」の取り組みなども検証し、また各地の開催状況も踏まえながら、検討していきたいと考えております。</p> <p>※1 神戸ビエンナーレは、2004年の「文化創生都市宣言」を受け、神戸の芸術文化の更なる振興を図るとともに、まちの賑わいと活性化につなげることを目的とし、「まちづくり」とそれを担う「人づくり」を目標に、2007年から2年に1度開催しました。</p> <p>※2 六甲ミーツ・アートは、六甲山観光(株)と阪神電気鉄道(株)が主催で、六甲山で行われている現代アートの展覧会です。</p>
7	文化コンテンツは量より質だと思います。 音楽や美術に関してはジャンルが多いので、どれかのジャンルに特化して深掘りして提供し、他都市と差別化する必要性を感じます。大衆が好む芸術は資金の量で勝敗が決まります	<p>本市ではこれまで神戸国際フルーツコンクールやジャズの街神戸の全国発信事業、「アート・プロジェクトKOBÉ2019：TRANS-」のような芸術祭、神戸まつり、六甲全山縦走など、特色ある事業に取り組んできました。引き続き、頂いたご意見も参考にさせていただきながら、本市の強みや個性に磨きをかけてまいります。</p>
8	神戸観光に期待度は薄いのではと感じます。 神戸に行かないと体験できないコンテンツはハード面で少ないので、ソフト面への投資が必要だと感じます。ハード面の観光は大阪と京都にゴマする形で問題ないと思います。	<p>観光施策を推進するためにはコンテンツを磨き上げ、SNSやウェブサイトを活用してプロモーションを行っていくことが重要だと考えております。大阪や京都等の他都市とも連携し、引き続き誘客に取り組んでまいります。</p>

9	<p>須磨のリゾート化は今後の楽しみの一つです。</p> <p>その上で淡路島のリゾート化と連携をとって、須磨で宿泊して、淡路島へボートで行って食べて遊んで、夜に須磨に戻ってくる等の導線ができればと思います。</p>	<p>圏域のPR、相互の交流人口の拡大、産業・観光資源の活用等を図るため、神戸市は令和元年に淡路3市それぞれと連携協定を締結しました。須磨海岸エリアも含め、神戸市の隣接地として、淡路との連携のあり方を検討していきたいと思います。</p>
10	<p>神戸の「海、まち、山」とは、「神戸港」、「三宮・元町」、「北野・山本通」が挙げられる。例えば港は、ウォーターフロント一帯を市民に開放し、世界中からヨット・クルーザーを呼び込む。護岸沿いにはホテルやレストラン、遊園地、コンドミニウムを。緑のトンネルで阪神高速を覆い、神戸駅を重要拠点として、木々に包まれた「丘の森の駅」を作る。これにより、都心の回遊性が増幅され、東西・南北の魅力あふれるルートができる。</p> <p>三宮は洒落たショッピングと、市場を背後に控えた庶民のまち。三宮駅周辺は近代建築素養と自然要素、そして新しいエネルギー需求提案を備えた建築コンセプトをもてれば。未来都市のように整備されるよりも、混沌としたイメージがよい。</p> <p>北野・山本通は、繁華街に隣接した絶景の住居生活ゾーンであり、市民の生活ゾーンであると同時に、短期長期滞在者のための生活宿泊空間にできないか。シェアハウス、ホームステイで、若い人たちに移り住んでもらう、またアーティストの工房やアトリエとして賃貸することでエリアはにぎわい、観光客にとってももまた楽しめるエリアとなる。例えば著名なアーティストを招き、ワークショップやミニライブを開催するなど、才能ある人のいるところに人は集まるのではいか。</p>	<p>本ビジョンには、都心・三宮再整備、ウォーターフロントなどの魅力向上などの施策を盛り込んでおり、山と海が近いという地理的条件や美しい街並みなどの資源を活かしながら、進めていきたいと考えております。いただいたご意見については、今後の政策の参考とさせていただきます。</p>
11	<p>必要なのは惹きつけられるような「人のにぎわい」であり、最も重要な要素が文化（アート）である。</p> <p>神戸は「アート」「音楽」「エンターテインメント」を主軸に据える。</p> <p>「音楽」はまちの中で高齢者も巻き込み日常的に露出されるなどもう少し頑張っても良い。音楽は人々を活気づかせる大きな要素である。街角ピアノはとても良いと思う。野外公演スペースや中小規模の自由に入出りできる開かれたスペースがあっても良い。ピアノだけではなく、あらゆる楽器、歌声が町中あちらこちらから聞かれ、アートと交わって見られる光景、それこそが楽しい賑わいのあるまちだと考える。</p>	<p>ご指摘の通り、文化・芸術は非常に重要な要素であり、特に感染症により先の見えない不安な時代の中、その重要性は増していると考えています。本ビジョンに基づき、劇場やホールだけでなくまちなか等、様々な場所で音楽が溢れる空間を創出するとともに、暮らしの中にアートが自然に溶け込み、日常生活が豊かに彩られるまちを目指してまいります。</p>

12	<p>神戸市が様々な人々に愛される街づくりを進めるためには、「インフラ革命」を起こすことが必要。市内に不足しているのは、平面エレベーターである。</p> <p>公共交通機関周辺に、平面エレベーターが設置されていれば、高齢者、サラリーマンや、買い物客が時間の制約にとらわれず、好都合に物を運べるようになり、生活をする上で、プラスに働くようになる。</p> <p>神戸市は、横浜市、名古屋市、大阪市よりも、規模の面では、小さいかもしれないが、政令指定都市である事には変わりはなく、インフラに革命を起こすことで、市内の様相は変化が期待される。</p> <p>「平面エレベーターの設置構想」を提案する。</p>	<p>ご意見については庁内で共有し、今後の政策の参考とさせていただきます。</p>
13	<p>長期間放置されてきた三宮再開発を推進すること</p>	<p>神戸の玄関口である都心・三宮の再整備は、神戸全体のまちや経済を活性化し国際競争力を高めるうえで不可欠であると考えています。平成27年9月に「神戸の都心の未来の姿[将来ビジョン]」及び「三宮周辺地区の『再整備基本構想』」を策定し、新たなバスターミナルや三宮クロススクエアをはじめとしたプロジェクトを官民連携して着実に進めてまいります。</p>
14	<p>相変わらずの開発一辺倒な政策になっている。三宮開発は反対。</p>	<p>神戸が今後も永きにわたって魅力ある都市として発展していくためには、その玄関口として都心・三宮の再整備を進めることは大変重要であると考えており、今後とも着実に進めてまいります。</p>
15	<p>三宮駅再整備には、JR、阪急を一体化した都市づくりが必須。</p>	<p>都心・三宮の再整備は、官民が連携し、進めていくべきものと考えています。JR西日本及び阪急電鉄を含む民間企業と連携し、駅ビル計画に合わせた乗換動線の改善やにぎわいの創出を図るなど、神戸の玄関口としてふさわしい都市づくりを進めています。</p>

16	<p>神戸空港、新神戸駅の活性化の為、両方を直結で結ぶ交通網の建設。 こうすれば、中国地方から新幹線を利用して空港利用する様な人が増加すると思う。</p>	<p>広域のアクセスの観点から、新神戸～神戸空港のアクセス強化は重要な課題であると認識しており、現状としては、平成30年4月からバスにより乗り換えなしで移動できるようになっています。</p> <p>空港の規制緩和による今後の空港利用者の増加等を見据えて、基本目標6 具体的な施策②「きめ細かで持続可能な交通環境の形成」に基づき、さらなる利便性向上に向けて取り組んでまいります。</p>
17	<p>地下鉄西神山手線を阪急の乗り入れを推進について追加検討をお願いします。</p>	<p>市営地下鉄西神・山手線と阪急電鉄神戸線の相互直通運転は、平成30年度から2カ年にわたり、市と阪急電鉄で実現可能性について検討を行ってきました。</p> <p>検討では、線路同士が近接している場所や交通結節点としてふさわしい場所として、三宮・新神戸・新長田の3箇所の接続案を選定し、接続方法や運賃、運行計画など、考えられるさまざまなケースを想定した上で、国のマニュアルに基づき費用対効果、採算性の評価を行いました。結果はどの接続案も投資に見合う効果は得られないというものでした。</p> <p>このため、定住人口や交流人口の増加により、鉄道利用者がどの程度増加すれば投資に見合う効果が得られるかという視点からも検討しましたが、相当規模の鉄道利用者の増加が必要という結果となったため、具体的な検討作業としては一旦区切りをつけることとしました。</p> <p>現在、人口の増加をめざし取り組んでいる地下鉄沿線等のリノベーションなど、西神・山手線沿線の利用者の増加につながるまちづくりの施策を進めています。施策の進捗をきっかけに、今後沿線等の開発機運がさらに高まり、大きな人口増が期待される状況になるなど、事業成立の可能性が高まれば、改めて実現可能性の検討を行いたいと考えております。</p>
18	<p>神戸は取り柄がなく、誇れる観光資源もない。神戸空港拡充・国際化を記載すべき。</p>	<p>本市には、異人館や中華街のほか、六甲山や神戸港、有馬温泉、灘五郷などの観光スポットが多く点在しています。神戸の多彩な魅力を県外の方に知っていただくことは重要であると考えており、神戸観光局公式サイトF e e l K O B E ではモデルコースをご提案しております。今後も引き続き神戸の観光地の魅力発信に努めてまいります。</p> <p>神戸空港の拡充及び国際化については、基本目標6 「③交通インフラの整備」において記載しています。</p>
19	<p>私も旅行が好きで色々な都市で行くのですが、都市の印象は主要駅を降り立った時の景色と印象で決まると思います。そして、強烈な印象を残すと思います。 そういった意味で、三宮の駅前には2025コンセプトを体現する景色に、そして魅力的な印象を残すべきだと思います。</p>	<p>三宮再整備では、海と山に囲まれ、駅とまちが近いという立地条件を活かし、駅を出た瞬間に訪れた人々が自然とまちへ誘われる「美しき港町・神戸の玄関口」を新たなまちづくりのコンセプトとして掲げています。「人が主役のまち」「居心地の良いまち」を目指して、神戸の玄関としてふさわしい景観を創出できるよう官民連携して取り組みを進めていきます。</p>

20	<p>神戸の都心の『未来の姿』について、都市計画に一貫性がなく、建築物も乱雑過ぎる。一定の基準が必要。特に高層ビルによる港側から六甲山への景観が台無しである。「景観」という神戸の重要な財産が失われようとしている。</p> <p>三宮駅周辺はすでに神戸の顔であるから、この再開発は非常に重要である。高層は避けられないのかも知れないが、決して、利便性のみを追求した没個性の高層ビルだけは避けなければいけない。</p>	<p>三宮再整備では「都市と自然が調和する景観」「神戸らしさを感じる”まちなみ形成”」「温かみのある”夜間景観”」といった景観形成の基本的な考え方にに基づき、官民が連携して、建築物と公共空間が一体となった魅力的な景観を創出していくために、景観デザインコードを設定し、多様な価値観を活かしつつ、調和の取れた景観形成を進めていきます。</p>
----	--	---

5. 「基本目標4」へのご意見（6件：再掲除く）

NO	意見の概要	意見に対する本市の考え方
1	<p>コロナ禍について、未知のウイルスに対して感染してから対策を考えるのではなく感染を防ぐ対策が必要だと思う。</p> <p>未知のウイルスが発見された時に直ぐに対応できる研究施設を設置して常にウイルスの発見と研究をする施設と感染者が出た時に即座に入院隔離のできる施設の併設を考えていただきたい。</p> <p>もちろん予算が必要だがそれに対しては市民の協力と製薬企業等の協力をお願いしてはいかがか。</p> <p>また人材については市内の大学病院等で研究員の養成をしてもらおう等皆さんの協力の元でお願いしたら良いのでは無いか。</p>	<p>感染症法などに基づいた健康危機管理体制として、本市には新たな感染症が発生した場合に国立感染症研究所と連携して速やかに病原体を特定し、その検査方法を構築するための研究施設として環境保健研究所があり、また感染症患者を隔離収容する感染症指定医療機関である中央市民病院を有しております。今後も原因不明の重症の感染症などの発生動向を早期に把握できるよう、人材育成も含め、感染対策の強化を図っていきます。</p>
2	<p>ビジョンの中に、有事の際に初動体制を取れる課、もしくはチームを作ることを考えてほしい。</p>	<p>大規模災害や緊急の事態に対処する組織として危機管理室があります。また、今回の感染症のような特別な事象が発生した場合は、いち早く全庁的な応援体制を敷いて対応にあたっています。今後とも有事の際には、神戸市全体として必要な体制を確保できるよう努めてまいります。</p>
3	<p>「基本目標4 災害や感染症度を踏まえた社会システムの構築」の中の「⑤感染症の発生拡大に備えた保健所の体制強化や感染症予防対策の強化」について。災害時の避難所における感染症予防は大切で、私たちの地域でも地区防災計画にコロナ対策を盛り込むよう検討していますが、災害時にこれを保健師だけでなんとかするのは無理があります。</p> <p>具体的な取組みとして</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 感染症予防のための市民への啓発の機会を増やす ・ 災害時避難所ごとに市民で構成する衛生班のようなものを作る <p>というのはいかがでしょうか。</p>	<p>感染症予防については、災害時だけでなく平常時から市民に対して呼びかける必要があり、本市ではホームページにおいて新型コロナウイルス感染症などの感染症に関する情報を発信するなど、啓発に努めています。</p> <p>またマスクや手指消毒剤、ダンボールベッドや間仕切り等を感染対策用の物資の備蓄を進めており、必要に応じて使用することとしています。</p> <p>避難所では避難者による自主運営を基本としていますが、被害の程度等により避難者の方の状況も異なるため、地域の皆様のご意見も伺いながら検討して行きます。</p>

4	「神戸市は、阪神淡路大震災を経験し、乗り越えてきた都市」ここにアイデンティティを持つのは、もういかなものかと思えます。26年前の過去の経験をアピールするより今後の未来を語る方が説得力があると思えます。	阪神淡路大震災を経験し、乗り越えてきた都市として、今後も、震災を記憶し、復興の歩みを後世に伝えていくとともに、被災地の復興やコミュニティの再生などに貢献していかなければならないと考えています。これらを進めていながらも、5年後の未来を見据え、「海と山が育むグローバル貢献都市」をテーマに掲げ、未来志向のまちづくりを進めてまいります。
5	高齢者等に対してデジタルリテラシーを無理に上げる必要性はないかと思われます。高齢者には高齢者が暮らしてきた習慣があるでしょうし、デジタルリテラシーを上げたい高齢者は民間が支援すべきで、市が目的をもって向上させる必要性はないかと思われます。	本市では、デジタル技術・データを利用して市民サービスの向上や行政の業務効率化を図るため、行政手続のオンライン化等のデジタルトランスフォーメーション（DX）を推進しています。また、社会全体のデジタル化が進むことで、誰も取り残さない形ですべての市民がデジタル化の恩恵を享受できるように、行政としてインターネットの利用に不安を感じておられる高齢者等のデジタルリテラシー向上をサポートする必要があると考えています。
6	交通のシェアサービスは先進的ですが、ニューノーマルとは逆行しているように感じます。知らない人が乗ってた自転車に、コロナ禍の中で乗りたいと思えますでしょうか	令和2年のコロナ禍において、自転車は密集を伴わない移動手段として注目されており、シェアサイクルについても、公共交通機関からの乗り換えなどにより、その需要は拡大しております。今後も、ポストコロナ時代を見据え、感染防止対策に十分注意しながら、シェアサイクルの拡大を進めてまいります。

6. 「基本目標5」へのご意見（再掲のみ）

NO	意見の概要	意見に対する本市の考え方
再	神戸医療産業都市は構想立ち上げから23年が経過した。国はグリーン成長戦略やDXを重点政策として掲げており、例えばデータを活用して市民の健康増進に資するAIデジタルヘルスの分野など、アカデミアやテクノロジー企業と国際的に連携し、新たな取り組みを進めていただきたい。	ご指摘のとおり、ヘルスケア分野など様々な企業等との連携が可能な神戸医療産業都市の強みを活かし、企業ニーズを踏まえたヘルスケア関連データの取得などにより、デジタルヘルス分野の研究開発の促進に取り組みます。
再	基本目標1⑥神戸医療産業都市の推進の項目に対する、事業例とKPIが一致していないように思う。神戸医療産業都市の推進を謳うのであれば、KPIを国産手術支援ロボットのみではなく、「新規薬事申請承認件数〇件」や「医療関連企業数〇社以上増加」といったものにすべきではないか。	神戸医療産業都市では（薬事承認に向けた）事業化支援を行っております。支援の程度や段階によりその後の捕捉が困難であることから数値目標は定めておりませんが、引き続き支援に努めてまいります。また、企業数の増加につきましては、医療関連企業・団体を含め全市的に企業誘致を推進することとしており、KPIとして全市で3,400人（令和3年度～7年度）の雇用創出を目指します。

7. 「基本目標6」へのご意見（7件：再掲除く）

NO	意見の概要	意見に対する本市の考え方
1	<p>交通は、阪神高速湾岸線の事しか書かれていないが、以下については今のままで良いのか。</p> <p>①ポータライナー ②地下鉄湾岸線 ③市バス ④市内の渋滞が多い。海の上は移動に使ってはいけないのか ⑤六甲山上バスは不便である。</p>	<p>ポータライナー、地下鉄海岸線、市バス、六甲山上バスをはじめとする公共交通については、基本目標6 具体的な施策②「きめ細かくて持続可能な交通環境の形成」に基づき、市民の移動の利便性向上のため、将来にわたって持続可能で体系的な公共交通ネットワーク構築に向け、引き続き取り組んでいきます。</p> <p>また本市では、道路整備の基本計画である「みちづくり計画（H28.3）」において主要な渋滞箇所を位置付け、道路の拡幅や交差点改良、ネットワーク整備、広報啓発や料金施策等のソフト対策も含めて対策を進めています。</p>
2	<p>ゴミの分別が細かすぎる。プラスチックが燃えるゴミとして出せないのが不便。リサイクル等の環境活動につなげる狙いがあるかと思うが、その効果を可視化して欲しい。分ける側の市民の手間、回収業者にも手間が発生していることを考えると、現状では効果が見えないため、分別をもう少し大雑把にし、ゴミを分別仕事について、高齢者や外国人の雇用を拡充するのはどうか。人間が目視して手で分別するというだけでなく、画像認識での分別やロボットの操作など、企業とコラボして発展性のある取り組みも可能ではないか。</p>	<p>本市では、ごみの減量・資源化や適正処理を目的に、効率性や市民負担等を勘案して、6分別（燃えるごみ、燃えないごみ、缶・びん・ペットボトル、容器包装プラスチック、大型ごみ、カセットボンベ・スプレー缶）としています。</p> <p>ごみの分別区分については、ごみを分別して排出していただく市民の負担、リサイクルに要するコストや効果を総合的に検討し、市民理解を得ながら適宜見直しを行ってまいります。</p>
3	<p>都市部の改善は、都市の『顔』として必要であるが、市民が日常生活を営んでいるのは都市部だけではないため、市民の生活空間やその周辺に対する改善も強く要望する。例えば妙法寺駅周辺は、徒歩やベビーカー、車いすでの移動を考えた場合に、歩道が狭い、段差が多い、トンネルが車専用で人が通るように設計されていないなど、移動しづらい状況があり、『人』を中心とした都市設計が全くなされておらず、根本的に車での移動が優先された都市設計、道路設計がされていると感じる。特に歩道の整備は安全直結することであるので、道路拡張が容易でないにせよ、電柱の地中化による道幅の確保、川を暗渠化することによる道路幅の拡張などはできないか。</p>	<p>本市では、高齢者や障がい者、ベビーカーを利用する方々を含む誰もが歩きやすい安全で安心なまちづくりを進めるため、都市部以外の地域においても、その地域の要望や道路利用の実態を踏まえて歩道の新設や拡幅、既設歩道の波打ち解消や段差解消、歩行の支障になる電柱の移設や細身化を電線管理者に要請するなど、安全な歩行空間創出を目指した取り組みを進めています。なお、阪神大水害（昭和13年）の際、暗渠化されていた生田川が、土砂や大木、巨岩により閉塞し、甚大な被害が発生した経験があります。川の暗渠化は、土砂や流木による河川の閉鎖の危険性が高いため、基本的には実施しない方針です。</p> <p>今後も、これらの取り組みを一層推進していきたいと考えておりますので、道路整備事業の推進にご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。</p>

4	<p>基本目標6④持続可能なまちづくりとエネルギー政策について、地域で取り組み地域で消費できるエネルギーの取り組みがあるのか。知らない単語ばかりで2030年のカーボンニュートラルに間に合うのか説得力に欠ける。</p>	<p>「地域で取り組み」「地域で消費」できる地産地消の再生可能エネルギーである、都市で発生するごみの焼却熱や下水処理の過程で発生するバイオガス（メタンガス）を活用する取り組みを継続してまいります。</p> <p>また、2050年までに温室効果ガス排出量ゼロを目指すために、利用時に二酸化炭素を排出せず、温室効果ガスの大幅な削減が期待されている水素エネルギーについて、民間事業者との連携のもと、実証事業から社会実装に向けた取り組みを加速させてまいります。</p>
5	<p>基本目標6の②「きめ細やかで持続可能な交通環境の形成」に関し、西須磨地域は、急な坂道が多いえ道路が狭く移動が困難な地域となっている。特に、一ノ谷地域は丘陵地の中腹に位置し、市バスも運行されておらず「交通弱者」を生み出し、切実な地域問題となるとともに、地域人口の減少にもつながっている。そこで、定時運行型の地域コミュニティミニバス（愛称「はまちどり」）の導入を目指し、「西須磨コミュニティミニバス検討委員会」を発足させ、積極的な活動を行っている。具体的には、JR須磨駅までの移動を基本路線としているほか、生活圈路線となる須磨水族園前付近までの運行ルート・停留所・運行時間などを検討している。さらに長期的には、コミュニティミニバスの運行定着を見極めたうえで、自動運転（レベル3）の導入を行う。MaaS関連有力企業に対して実験路線の招致活動を行い、2025年に実証実験実施の足掛かりづくりを目指す。加えて、スマホを活用した新しいモビリティサービスの検討と導入を目指す。以上のような取り組みはビジョンの趣旨に沿っているか伺いたい。</p>	<p>ご指摘のような路線バスなどの既存の公共交通サービスが十分に行き届かず、生活交通に課題を抱えている地域には、その地域の実情に応じた地域コミュニティ交通の導入が考えられます。地域の皆さまの主体的な地域コミュニティ交通の取組に対し、市の制度に基づき需要調査や試験運行等、段階に応じた支援を行うことで、地域の実情に応じたきめ細やかで持続可能な交通環境の形成を図ります。</p> <p>そのような課題を抱えている地域に対し、市の支援制度の紹介や検討組織の立ち上げ支援を行うほか、試験運行にあたっては広く地域住民に知られるよう、また導入後は継続した取り組みとなるよう広報等の協力を行います。</p>
6	<p>神戸空港は不要。国際空港はもつてのほか。</p>	<p>神戸空港は2006年2月の開港以来、延べ3,800万人を超える方々に利用いただいております。関西国際空港や大阪国際空港（伊丹空港）とともに関西の航空需要を支える交通インフラとして重要な役割を担っています。</p>
7	<p>神戸空港の国際をいち早く実現頂ければと思います。インフラの重要起点が整備されれば全てが変わると思います。</p>	<p>関西全体の航空需要の拡大、関西経済の発展に向けて神戸空港の役割を果たすため、国際化を含む空港機能のあり方等について関係機関と検討を進め、関西3空港がそれぞれの役割を果たすことにより、関西全体の航空需要の拡大、関西経済の発展に繋げてまいります。</p>

8. 「基本目標7」へのご意見（1件：再掲除く）

NO	意見の概要	意見に対する本市の考え方
1	<p>私たちの活動と関わりが深い「基本目標7 多様な市民の参画による地域コミュニティの活性化」についてです。</p> <p>「多様な世代や背景を持つ市民が参画すると、コミュニティが活性化する」ような今回の基本方針は、少し乱暴な感じがします。それよりも、それらの人が参画・活躍できるような、住民組織のあり方・運営方法について、市としての方針を示していただきたいと思います。地域の様々な課題解決の核となるそのような組織がきちんと運営されることで、結果として多様な世代や背景を持った市民が活動に参画することになるからです。</p> <p>また、SDG`sの核である「持続可能な」地域を作っていくためには、サービスの受け手としてだけでなく、担い手としての自覚を持った市民を醸成・啓蒙していくことが重要だと考えます。このような市民が増えることで、地域の様々な課題を自分たちで解決することができるようになるのではないのでしょうか。このことも、方針に入れていただきたいと思います。</p>	<p>地域コミュニティの成り立ちは地域によって様々です。自治会等の特定の団体が核となっている地域もあれば、いろんな団体が地域の中でネットワークを作っている地域もあります。このため、全市一律ではなく、その地域ごとの組織のあり方や運営方法を尊重し、地域コミュニティ施策を推進していきます。</p> <p>また、「多様な世代や背景を持つ市民の参画」には、「担い手としての自覚を持った市民の醸成・啓蒙」が重要です。本市では、従来から、高齢者、女性、企業人、学生などが、地域活動等に参加する様々なきっかけづくりを行っており、本ビジョンにおいても着実に取り組んでいきます。</p>